

2023 事業年度 事業報告

本財団は、機械の生産において工作機械を中心とした高度生産システムに係わる研究開発、利用等に関する援助及び助成を行うとともに、国際的技術交流を通じて、機械の生産技術の高度化を図り、わが国及び世界の機械産業の発展に寄与することを目的として事業を行っています。

1. 年間活動報告 (2023年4月1日～2024年3月31日)

2023 事業年度の各事業は、2023 年 3 月開催の理事会、評議員会において承認された事業計画に基づきほぼ計画通り実施しました。

2023 年

- 4 月 20 日 ・2022 事業年度分 会計監査終了
- 5 月 19 日 ・2022 事業年度「マザック高度生産システム研究助成者発表並びにマザック高度生産システム優秀論文賞表彰式」をヤマザキマザックマニファクチャリング(株)美濃加茂製作所にて実施。
- 22 日 ・2022 事業年度 研究助成金、優秀論文賞副賞払込み完了
- 31 日 ・第 39 回理事会（書面）開催
- 6 月 16 日 ・第 24 回定時評議員会、第 40 回通常理事会を六本木ヒルズクラブにて合同開催
- 21 日 ・内閣府へ定期提出書類（事業報告）提出
- 26 日 ・名古屋法務局へ評議員変更登記
- 7 月 10 日 ・内閣府へ変更届提出
- 9 月 1 日 ・2023 事業年度 研究助成、論文表彰募集開始
- 10 月 20 日 ・第 41 回通常理事会を書面にて開催
- 11 月 30 日 ・2023 事業年度 応募の締め切り
 - 研究助成申請 50 件
 - 論文表彰申請 24 件
 - 国際会議助成申請 2 件

2024 年

- 2 月 7 日 ・審査委員会開催
 - 研究助成候補 23 件
 - 論文表彰候補 17 件
 - 国際会議助成候補 2 件 選定
- 3 月 12 日 ・第 42 回理事会（書面）開催
- 21 日 ・第 25 回評議員会（書面）開催
- 25 日 ・内閣府へ定期提出書類（事業計画・収支予算）提出

2. 前年度（2022 事業年度）研究助成の成果報告

前年度研究助成対象先 18 件のうちの下記 18 件について研究成果の報告を受け、冊子にまとめました。

1	名古屋工業大学	前川 覚	表面の粗さやうねりのばらつきを考慮した不確かさ評価付きトライボ CAE モデルの開発
2	産業技術総合研究所	村上 敬	超高温域で高強度を示す Ti(C,N)-W サーメット製難切削材用高速切削工具の開発
3	岡山大学	篠永 東吾	EB ポリッシングによる金属積層造形物の高能率表面仕上げ法の開発
4	大阪大学	孫 栄硯	デジタルツイン支援によるプラズマ加工プロセスの高度化
5	大阪公立大学	森永 英二	生産システムのフレキシブル運用に向けたデータ駆動型生産スケジューリング法の高性能化
6	慶応義塾大学	小池 綾	高重力場 3D プリンタによる月面レゴリス造形
7	日本工業大学	二ノ宮 進一	複合加工機を用いた小径軸付砥石による超音波ヘリカルスキャン研削
8	富山県立大学	岩井 学	微小モジュール歯車の超音波振動援用ギアスカイピング法の開発
9	長岡技術科学大学	原 圭祐	超音波振動切削の可能性を広げる工具振動軌跡可視化技術の開発
10	東北大学	大塚 啓介	非線形性移動型モデリングによるソフトロボットの構造最適化
11	千葉大学	松坂 壮太	ガラスのスクライブ加工において基盤保持機構が亀裂進展挙動に及ぼす影響
12	岡山大学	児玉 紘幸	サーボモータ電流データベースに基づくボールエンドミルの初期摩耗検知技術の開発
13	熊本大学	久保田 章亀	トライボプラズマを援用したダイヤモンドの加工方法
14	秋田大学	奥山 栄樹	真円形状測定用ソフトウェアデータムへの Wavelet の適用
15	電気通信大学	森重 功一	特殊工具と連携した高付加価値 5 軸制御加工のための工具経路生成手法の開発
16	慶応義塾大学	小茂鳥 潤	AIH-FPP による元素ドーピングを利用した切削工具表面の改質
17	上智大学	田中 秀岳	炭素繊維強化樹脂の放電援用旋削加工用工具の開発
18	福井工業高等専門学校	千徳 英介	熱画像によるレーザフォーミング加工の変形予測

3. 2023 事業年度助成金公募および助成金交付先

定款第 4 条（1）に従い、高度生産システムに係わる、工作機械の機械要素技術や制御技術、工作機械による加工技術、被削材や工具などの材料技術、ロボットや搬送装置など周辺装置とその制御に係わる技術、また生産システムを構築、運用するための生産技術や情報通信技術に取り組んでいる国内・海外の個人及び 大学、各種研究機関に対して援助・助成を実施しています。

2023 事業年度は、研究助成応募 50 件、国際会議助成応募 2 件であり、いずれも 2024 年 2 月 7 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 12 日の理事会にて承認を得て、研究助成 23 件、国際会議助成 2 件を決定しました。

※ 助成・表彰実績にて研究助成先・国際会議助成先リスト掲載しております。

4. 2023 事業年度論文公募と優秀論文表彰

定款第 4 条（2）に従い、若手研究者を対象とした論文募集を行い、優秀論文を顕彰しています。

2023 事業年度は、応募件数は 24 件で、2023 年 2 月 7 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 12 日の理事会にて承認を得て、1 件の優秀論文特別賞を含む 17 件の優秀論文賞を選定しました。

※ 助成・表彰実績にて優秀論文の表彰リスト掲載しております。